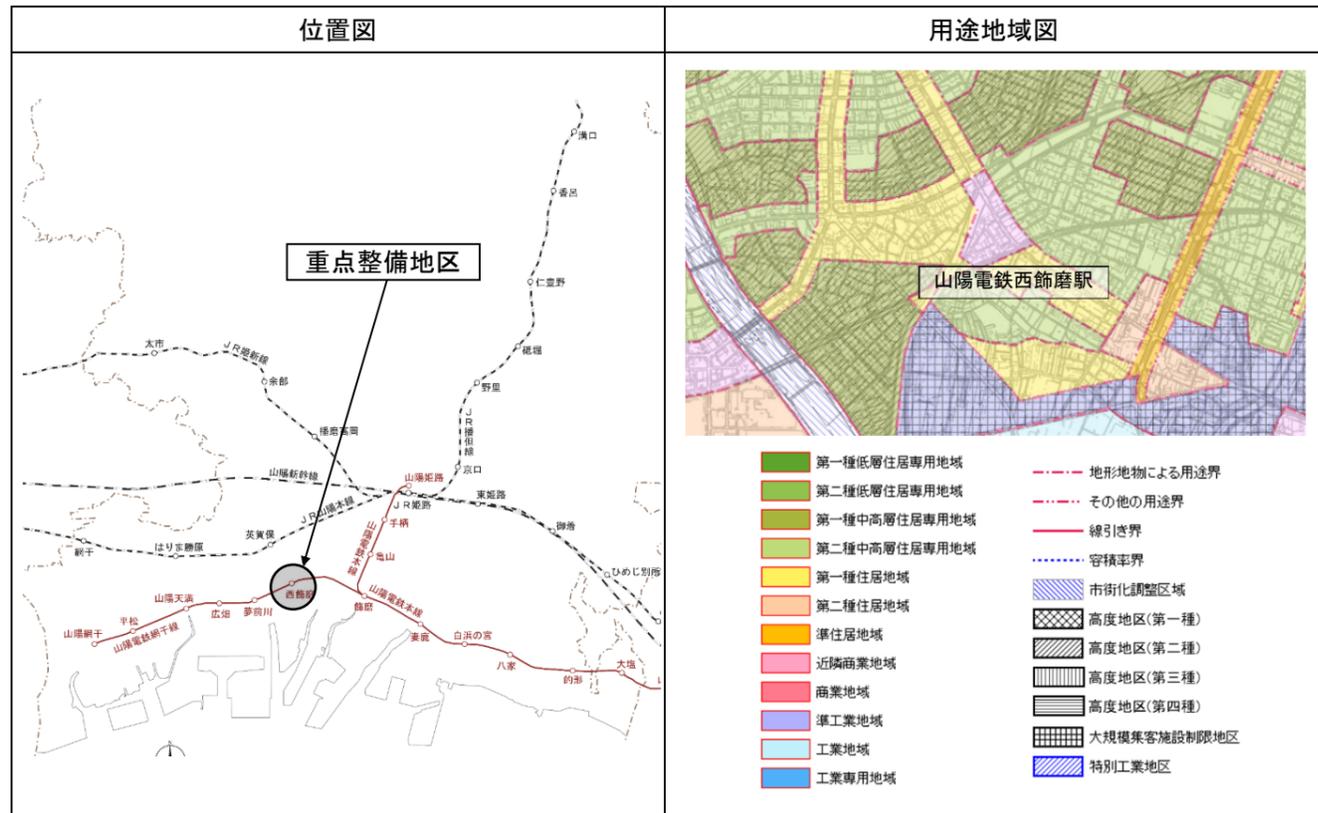


山陽電鉄西飾磨駅周辺地区【概況】



地区特性

【データ】
 (1) 山陽電鉄西飾磨駅
 ① 1日平均乗降客数・1,945人/日（令和5年度）
 ② 駅の概要
 ・構造……………高架
 ・駅舎……………高架式
 ・ホーム……………相対式2面2線
 ・改札口……………1

地区特性

【地区の特性】

- ・山陽電鉄西飾磨駅は、1日当たり乗降客数1,945人（令和5年度（2023年度））であり、駅北側は商業系、駅南側は住居系の土地利用となっている。
- ・駅前広場は整備されているが、駅を出てすぐではなく、道路を横断したところにある。一般車の乗降スペースはなく、朝夕の通勤通学時間帯には、送迎のための車などが道路上に停車している。
- ・駅の南西側には、高架に沿って駐輪場が設置されており、利用者が多い状況である。
- ・駅周辺には、駅の北側に主要な施設として環境ふれあいセンター、医療施設や銀行、南側には郵便局、医院や公園等が分布している。
- ・駅北側、南側ともに、住宅が密集して建ち並んでいる。

【バリアフリーから見た主な現況及び計画と課題】

- ① 鉄道駅
 - ・駅舎は高架駅であり、改札口は1ヶ所のみで、南北両方から改札口を利用できるようになっている。
 - ・改札口からホームへの移動は階段のみとなっており、車椅子やベビーカー利用、高齢者等にとって不便である。
 - ・階段は、手すりが1段、両側設置となっており、2段手すりや、階段段鼻の識別表示設置など、障害者、高齢者等の利用しやすい整備が必要である。
 - ・巡回駅（無人駅）となっていることから、周辺案内情報提供の充実が課題となる。
 - ・利用者の問合せに対しては、カメラ付きインターホンでの対応がなされている。
 - ・一般トイレが設置されているが、車いす利用者等が利用できるバリアフリートイレがないことが課題である。
- ② 駅前広場（北側）
 - ・駅前広場は自家用車乗降場や障害者乗降場の設置、また十分な照度を確保できるよう道路照明灯の設置が必要である。
- ③ 道路
 - ・駅から駅前広場等にアクセスする経路は、視覚障害者誘導用ブロックの敷設など、安全確保のための対策が必要である。
 - ・また、視覚障害者誘導用ブロックの敷設や縦断勾配の改善が必要な区間もある。

山陽電鉄西飾磨駅周辺地区【現況図】

